

令和 4 (2022) 年度 基盤研究 (S) 審査結果の所見

研究課題名	マルチカロリトロニクス
研究代表者	内田 健一 (国立研究開発法人物質・材料研究機構・磁性・スピントロニクス材料研究拠点・グループリーダー) ※令和 4 (2022) 年 6 月末現在
研究期間	令和 4 (2022) 年度～令和 8 (2026) 年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>【課題の概要】 本研究は、強誘電体の自発電気分極の集団励起モードであるフェロンの輸送現象や熱電効果と、強磁性体の磁気モーメントの集団励起モードであるマグノンとの相互作用を解明し、スピнкаロリトロニクスにフェロン自由度を組み込んだマルチカロリトロニクスという学際融合領域の創出を目的としたものである。</p> <p>【学術的意義、期待される研究成果等】 スピнкаロリトロニクスを拡張するマルチカロリトロニクスと呼ぶ新しい学理構築を目指す独創性の高い課題ある。加えて、輸送物性や熱電変換に新たなフロンティアを拓き、波及効果が極めて大きいと期待される。</p>